

check 18才以下の子どもに10万円くばります

政府はコロナの経済対策として「18才以下の子どもに10万円を配る」ことを決めました。千代田区は当初10万円のうち5万円を現金、残りの5万円はクーポンで配る予定になっていましたが、「全額現金でほしい」との声が相次ぎ、区議会も「クーポンじゃなく現金で!」と区長に申し入れました。区は全て現金で配ることを決めました。これらのお金は全部国が出しますが、配るために一度区が立て替えます。区議会では、配るお金として5億2千万円とその経費1,700万円を2回に分けて追加の予算を組みました。

経費は、お知らせを送るための郵便代や振込にかかるお金です。

2回に分けて配るので経費はほぼ倍かかりますが、区は一回目のお知らせを急いで送り終えてしまったので、10万円を一度に振り込むことができませんでした。1度目は2021年12月27日に振り込まれ、2度目は2022年1月末振込予定です。



詳細

対象は年収等条件があります。一度目は2021年12月27日、2度目は一月末に振り込まれます。今回はプッシュ型と呼ばれる申請をしなくても行政からの通知（意思確認）のみで交付される給付金です。一部申請が必要な方にも臨時給付金が支払われますが、こちらは10万円一括の振込となります。住民税非課税世帯への給付金も補正予算を組む予定ですが、こちらは対象や時期などが2021年内に詳細が確定しなかったため、1月に補正予算も含め検討することになりました。

ご意見・ご相談お気軽にお寄せください

*携帯メールはこちら
yapparihayanehaoko@softbank.ne.jp

*お手紙はこちら
〒102-8688
東京都千代田区九段南 1-2-1
千代田区役所 7F

*お電話はこちら
Tel: 080-3150-2090

*ファックスはこちら
Fax: 03-3263-9255

*PCメールはこちら
ryokoiwas@gmail.com



岩佐りょう子プロフィール 立憲政策フォーラム

千代田区議会 副議長
所属委員会

議会運営委員会、保健福祉委員会、公共施設調査整備特別委員会
議会のあり方に関する調査特別委員会
LGBT自治体議員連盟、手話推進議員連盟所属

岩佐りょう子は学生の職場体験やインターンを受け入れています。日数などは応相談です。ご興味のある方はご連絡ください。

小学生から読める! 忙しい朝でも読める!

千代田区議会議員 岩佐りょう子の



超かんたん区政報告

目次

- *18才以下の子どもに10万円くばります
- *新型コロナワクチン3回目接種スタートです
- *飯田橋・富士見地域のまちづくり
- *ワクチンで防げるガンがあります
～子宮けいがんワクチンについて

check 新型コロナワクチン3回目接種スタートです

千代田区ではすでに85%の人が2回の接種を終えていますが、感染や重症にならないための3回目のワクチン接種が1月から始まります。3回目のワクチンは、2回目までのワクチンの種類に関わらずファイザー社かモデルナ社かいずれかを選択できます。また、区民ホールや出張所での集団接種はなくなり、3回目はすべて病院での接種となります。

そのため、接種する病院が遠くに行くことが大変なお年寄りのために風ぐるまの停留所から病院までのタクシー送迎サービスをする予定です。1月から接種券が順番に届きます。

※12才以下(5才~11才)のお子さんのワクチン接種についても、いま準備しており、早ければ3月くらいから接種できるようになるかもしれません。子どものワクチンについては、大人のワクチン接種会場と別にする必要がありますが、学校での集団接種はありません。

接種券発送及び接種時期

2回目接種	5月	6月	7月	8月	9月
接種券送付	12月10日	1月5日 1月11日	2月	3月	4月
3回目接種開始目安	1月以降	2月以降	3月以降	4月以降	5月以降

注意! 2回目の接種の時に千代田区に住居登録がなかった方には接種券は届きませんので問い合わせる必要があります。
(☎03-5211-4114)

詳細

区では第6波感染拡大に向けて、準備を整えています。

- *病床を区独自に20床確保
- *酸素濃縮器の区独自確保(15台)
- *抗体カクテル療法体制の整備
- *助産師による自宅療養中妊産婦への健康観察
- *医師会と自宅療養者の情報共有によるオンライン診療の迅速化

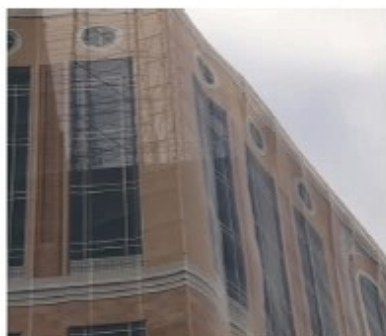
check 飯田橋・富士見地域のまちづくり

千代田区では、多くの古い建物が建て替えるの時期に来ていますが、個々にはなかなか建て替えられないビルがたくさんあります。そのため、いくつかの古いビルをまとめて建て替える「都市計画」が区内のそこかしこで進められています。飯田橋駅の周辺も開発計画がたくさん立ち上がっています。

飯田橋駅西口の改札口は2020年にリニューアルしましたが、東口側の再開発の計画も進めることになりました。

2022年には富士見こども広場があるエリア一帯の再開発が計画されています。古いビルを壊して大きな高いビルを建て、上に高くなった分道路や広場を広げたり駅をきれいにしてバリアフリーを進めていく計画です。それぞれのビルが100mを超す再開発となるため、土地を持っている人はもちろん住んでいる人の意見をたくさん聴く必要があります。また、飯田橋駅の周りには重要な文化財・史跡もあるため、保存もしていかなければなりません。

富士見2丁目3番地区整備方針図



景観に配慮した工事中のシート

飯田橋駅周辺のまちづくりは、住んでいる人や働いている人たちが集まって「まちづくり協議会」を開いて「将来どんな街がいいか」が書いてある基本構想やガイドラインに沿って進めています。

また、2026年頃は飯田橋の駅の近くがどこもかしこも「工事中」となる恐れがあります。工事の時期や仮囲いのデザインなども含め工事期間中の景観についても計画的にしてほしいと思っています。

詳細

飯田橋・富士見地区のまちづくりは、2021年に飯田橋駅東口地区、2022年富士見2丁目3番地区・飯田橋駅東口中央地区がそれぞれ都市計画を進めています。それぞれが130mを超える建物になることや区有地があることから、丁寧に地域の声を聞きながら計画的かつ一貫性のあるまちづくりが求められています。

check 「ワクチンで防げるガンがあります。」 子宮けいがんワクチンについて

女性がかかりやすいガンの1つでウィルスが原因のものがあります。HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が原因と考えられている子宮けいがんです。

日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮けいがんになり、毎年約2,800人の女性が亡くなっています。

がんのせいで子どもを産めなくなってしまう人も、毎年約1,200人います。

このガンにならないために小学校6年～高校1年生の女の子を対象に、原因となるHPVの感染を防ぐワクチンを無料で打てることになっています。なぜ、小学校6年～高校1年相当の女の子が対象なのかというと、このワクチンはHPVに感染する前に打たなければならないからです。

海外では多くの国でこのワクチンを打っていて、子宮けいがんになる人は日本に比べてずっと少ないのです。

日本ではこのワクチン接種が始まった直後から重い副反応が発生するかもしれないという心配の声が大きくなり、打つことを勧めていない時期がありました。最近このワクチンの安全性が確認できるデータもたくさん集まってきたことで改めて積極的にワクチンを勧めることになりました。



ワクチンを無料で受けられるのは、小学6年生～高校1年生の女の子です。この年齢を過ぎると、ワクチンは有料となりますが、コロナ禍で自粛をしていてワクチンを受け損ねてしまった人のために区は無料で受けられる期間を延長することになりました。

また、千代田区では2月頃はまだHPVワクチンを受けていない対象の方に受診票を送る予定です。

詳細

無料延長となる期間は、一律令和3年11月1日～令和5年10月31日です。対象となる方は、令和3年度に中学3年生～高校3年生相当の方です。

*令和3年度に高校2年生～3年生相当の方で、令和3年10月31日までに自己負担で接種した方は、接種費用の助成があります。

★接種についての相談は保健相談係（保健師） ☎ 5211-8175

